



2/10 地熱井掘削に関する説明会

湯の谷地区での地熱発電事業

湯の谷地区で地熱発電事業を計画している(株)フォーカス、(株)レノバ、デナジー(株) (湯の谷グループ) が、平成27年度に実施した地表調査の結果を踏まえて地熱井掘削に関する説明会を長陽保健センターで開催しました。

説明会では、当グループから40年以上にわたり噴出し続けている当地区の井戸を例に、事業計画の概要や継続的に実施する温泉モニタリング、地域貢献策などが説明されました。参加者からは、水利権などの問題について質問がありました。

当グループは今後、各種法手続き等を進めながら29年度の掘削着手に向けて準備を進めます。



事業内容を説明する湯の谷グループと説明会出席者

2/6 旧久木野中学校を活用

くまもと清陵高等学校

村と熊本ゼミナール株式会社が、旧久木野中学校の売買契約の締結式を久木野庁舎で行いました。

これは、平成17年4月に国の構造改革特区制度を活用し、株式会社フリーダム九州初の株式会社立の単位制通信制高校「くまもと清陵高等学校」を開校させ、自己実現教育を理念に掲げてきましたが、同社の親会社、同ゼミナールが今後、更なる教育環境の充実を図るため、空き校舎となった旧久木野中学校を買収し、学校法人化するもの。

同ゼミナール組協代表が「夢を持てる生徒の育成を図り、南阿蘇村に恩返ししたい」とあいさつ。

本年4月1日に学校法人となる予定です。



くまもと清陵高校の校舎として活用される旧久木野中学校校舎

2/20 地域の頼れる場に

世界農業遺産ASOプロジェクトチーム

両併小学校近くにある商店の納屋部分を改築したシェルター機能付きコミュニティカフェ「GIAHS CAFÉ」がプレオープンしました。

これは、県の「地域づくり夢チャレンジ推進事業」を活用したものです。

建物内には、ペレットボイラーやバイオマストイレ、ソーラーパネルが設置されています。

3月20日にオープンしたカフェは、座敷の席も完備され、気軽に立ち寄れるカフェになっています。



3月20日にオープンした「GIAHS CAFÉ」

2/14~21 ラッピング列車出発進行！

ちょうよう保育園

2月14日~21日にかけて、ちょうよう保育園の2歳~5歳児の4クラスが、南阿蘇鉄道が3月5日まで運行していた「ONE PIECEラッピング列車」の乗車体験をしました。

20日は、2歳児クラスの26人が乗車。午前11時30分高森駅発のレールバスに乗り込むと、先生からおやつが配られ、「おいしい」とほおぼっていました。

出発前には、「ONE PIECE」のキャラクターのアナウンスが流れ、園児たちは喜んでいました。

当日はあいにくの雨でしたが、窓の外に顔を向け、手を振っていました。



ラッピング列車で「行ってきます！」

3/4 阿蘇の自然を体感

mont-bellオープン2周年記念トレッキングツアー

みなみあそコミュニティーセンター「mont-bell南阿蘇店」のオープン2周年の記念と、村の復興を祈念したトレッキングツアーが開催されました。

当日は、「南阿蘇外輪山コース」、「倶利伽羅谷周回コース」、「免の石周回コース」の3コースで行われ、県内外から105人が参加。「免の石周回コース」では、昨年の熊本地震で落下した大岩を祀ったスポットもあり、参加者が見入っていました。

トレッキング終了後は、「道の駅 あそ望の郷くぎの」で、mont-bellグッズや村の特産品が当たる抽選会が開催され、会場は賑わいました。



熊本地震で落下した大岩を見入る参加者

3/1~10 熊本をまるごと体感

くまもと版ワーキングホリデー

「くまもと版ワーキングホリデー」が開催され、県外出身の大学生5人が本村を訪れ、「阿蘇ファームランド」で健康運動施設や、宿泊棟での就労体験をしました。

これは、都市部の大学生などの若者を対象に、熊本県へ一定期間滞在し、県特有の産業で収入を得ながら働き、地域住民と県ならではの交流を通して一般的な観光旅行では得られない感動や経験を味わってもらうことを目的に総務省と県が主催したものです。

8日には、県野外劇場アスペクタのスタジオで、移住者の皆さん(3人)による移住体験談発表や、村関係者などとの交流会が行われました。



中野玲菜さん(右端)の体験談に聞き入る大学生たち

3/11 開校初の卒業生

南阿蘇中学校 卒業式

南阿蘇中学校で記念すべき「第1回卒業証書授与式」が行われ、99人が学び舎を巣立ちました。

式では、坂梨正文校長から卒業生一人一人に卒業証書が手渡され、「いよいよ羽ばたきの時です。胸を張って飛び立ってください」と激励のあいさつがありました。

その後、生徒代表で丸山倫果さんが送辞を述べ、答辞では、卒業生の河津奏人さんが、「地震後、中学校は移りたくないというわがままをお父さんとお母さんは叶えてくれた。そして、毎日楽しく学校生活を送れたのは共に過ごした3年生皆さんのおかげ」と家族や同級生への感謝の言葉を述べ、厳粛な中にも温かな感動のある卒業式となりました。



答辞を述べる河津奏人さん

3/8 村の地域資源を活かした創業・復興の支援

創業支援・復興支援セミナー

村内での創業希望者や村の観光再生を目指す人などを対象とした「創業支援・復興支援セミナー」が久木野庁舎で開催され、創業支援関係者なども含め63人が参加しました。

これは、地域資源の有効活用や、観光産業の復興推進を目的としたものです。セミナーは、東海大学経営学部 観光ビジネス学科の宮内順教授と、中小企業診断士・復興支援アドバイザーの本郷誠氏による地域資源の活かし方や創業に必要な基本的な知識などの内容が盛り込まれた基調講演が行われました。

終了後、参加者からは「異業種交流の着目点が学べた」などの意見が寄せられました。



宮内教授による基調講演を熱心に聞き入る参加者の皆さん